



このアルバムには2010年から2021年にかけて制作した作品を収録しました。
私たちがこの年々に経験したのは、東日本大震災に始まる数多くの災害、不信感が増す政治、平成から令和へ、そして世界を一変させたCOVID-19…。そんな変化の中で日本の片隅で生まれた音楽に耳を傾けていただけたら嬉しいです。

ライナーノーツ

(a) : aimayumi (T) : Takashi S
タイトル横の()は初出年月



01 はるかすみわたる-aimayumi version- (2021.12)

作詞・作曲:Takashi S
Arrangement:Masahiro Komura Vocal:aimayumi
Guitar:Masahiro Komura Music Program:Masahiro Komura
Mix:Masahiro Komura

2021年3月開催のあべのハルカス開業7周年記念イベント「ハルカストーン物語」のイメージソングに起用された楽曲。ハルカス 300 展望台ではえんりさんが歌うバージョンの他、山本笑さんが歌うバラードバージョンが毎日流れていて、公式ホームページでもこれら2バージョンが動画で公開されています。
aimayumi バージョンはえんりさんが歌うバージョンを元に The Hummingbirds らしいコーラスワークを施して新たに制作しました。(T)

02 変化ナ (2012.10)

作詞・作曲:aimayumi
Arrangement:Takashi S Vocal:aimayumi Guitar:Takashi S
Music Program:Takashi S Mix:Takashi S

2011.3.11以降、初めて書いた曲。描いていた未来は形を変え、現在(いま)すら分からない世界。大切なものを失い、悲しむ事もままならず生きる人々の姿、「諸行無常」さえ壊すように未来永劫たまり続ける透明な猛毒の怖さ、戦後 平和に向かい黒塗りにされた教科書が又塗り替えられつつある不穏な動き…。そんなことを思い描きました。
変わりゆく時の中、人が少しでも良く生き、愛することができるよう。(a)

03 Does he cook me? (2016.10)

作詞・作曲:aimayumi
Arrangement:Takashi S Vocal:aimayumi Guitar:Takashi S
Music Program:Takashi S Mix:Takashi S

日常の閉塞感の中、甘い誘いにつられ、なんとなく恋したつもりが深刻なDVに遭ってしまった女性を描いた、というのは表向きの話。エサにつられて権力者に操られ、自分で考える人は嫌われる、物言えぬ時代への危機感と皮肉を込めた「ヒ・コ・〇・ミ・ン・ト」の歌。バレたらこの歌も消されちゃうかな？原型は、2016年7月、東京から大阪に向かう新幹線車内で参議院議員選挙の当確速報を見ていて生まれました。
アイマユミ版「注文の多い料理店」のつもりでもあります。(a)

04 デロリアン (2015.8)

作詞・作曲:Takashi S
Arrangement:Takashi S Vocal:aimayumi Guitar:Takashi S
S Sax:Takuro Okamoto Music Program:Takashi S Mix:Takashi S

もしもタイムマシンが完成して過去をやり直せたとしても、タイムパラドックスとやらに阻まれ、結局うまく行かないことを僕たちは多くのフィクションに教わって知っています。スガシカオさんが「夜空ノムコウ」で問いかけていたように「あの頃の未来」に僕らはまだ辿り着いていないと感じるのは僕だけじゃないのでしょうか。
でもそれって良いことなのか。僕らが変わえていける未来を、まだまだ思い描くことができる力を僕らが持っているってことなのだから。(T)

05 カラフルタウン (2017.4)

作詞・作曲:aimayumi
Arrangement:Takashi S Vocal:aimayumi Guitar:Takashi S
Music Program:Takashi S Mix:Takashi S

元々「あべのハルカス縁活テレビ」テーマ曲をイメージして書き下ろした楽曲。大阪の魅力を知ってほしい、そして歌詞の「僕らの街においでよ」の通り、実際に訪れてほしい。そんな気持ちを歌にしました。
COVID-19の影響で、簡単に「おいでよ！」と言えない今が切ないです。(a)

06 陽だまりに抱かれて (2015.3)

作詞・作曲:aimayumi
Arrangement:Takashi S Vocal & Melodion:aimayumi
Guitar:Takashi S & SHIMIZU Jun Music Program:Takashi S Mix:Takashi S

名曲「木枯しに抱かれて」の続編、をテーマに書いた曲。きっかけは2014年10月に出演した某ライブ。「木枯しに抱かれて」のコーラスを担当した私に、あるご婦人が「あの曲にとても感動したわ。あなたの赤い薔薇のネックレスがユラユラ見え隠れして切なくて。(中略)私、この片想いの続きが知りたいわ。あなた書いてくださらない？」と仰ったのです。冗談だったであろう最後の言葉を真に受けて(笑)作りました。そして、この曲で初めてメロディオン録音しました！(a)

07 クリスマスを忘れないで (2013.12)

作詞・作曲:aimayumi
Arrangement:Takashi S Vocal:aimayumi Guitar:Takashi S
Music Program:Takashi S Mix:Takashi S

「クリスマスを忘れないでね」というサビのメロディーと言葉が、ある時 同時に浮かび、膨らませた楽曲。「クリスマスのラブソング＝片想い又は失恋であるべき」という私の信念に基づいてストーリー展開しました。クリスマス、彼氏と一緒に、あー幸せ…そんな歌いきませんから。(意見には個人差があります)(a)

08 少し離れて愛したい (2020.6)

作詞・作曲:Takashi S
Arrangement:Takashi S Vocal:aimayumi Guitar:Masahiro Komura
Music Program:Takashi S Mix:Takashi S

大阪府南部に生まれ育った僕にとって2019年7月の百舌鳥古市古墳群の世界遺産登録はとても嬉しい出来事でした。でも古墳って近くから見ると単なる木が生い茂った丘。古墳の魅力を感じてもらうにはどうしたら良いのかと思っていたところ、以前から古墳の魅力を伝える活動をしている堺市の知人が古墳をモチーフにしたキャラクター「こぶんこ」を作っていることを知りました。そんな「彼女」のテーマソングとして作った楽曲で、The Hummingbirds バージョンより先に VOCALOID が歌ったバージョンを制作、2019年10月にYoutubeで公開しました。歌詞に書いた通り、「古墳は少し離れて見ることができれば、より魅力が伝わるんだけとなぁ」と思っていたのですが、世界遺産登録を契機に空から古墳を見ることができる観光手法が開発され始めているそうです。(T)

09 オンリロンリ (2013.8)

作詞・作曲:aimayumi
Arrangement:Takashi S Vocal:aimayumi Guitar:Takashi S
Music Program:Takashi S Mix:Takashi S

バーチャルとリアルを行ったり来たりの現代社会。どちらの世界も厳しく孤独で、だから人は繋がりたくて、SNSで、いいね！いいね！と踊り出すのでしょうか。「生きるって難しいね。」リア充自慢に疲れ果てた人も、誰かの攻撃に悲しんでいる人も、どうか「うまく生きて」ください。(a)

10 give and give (2012.2)

作詞・作曲:aimayumi
Arrangement:Takashi S Vocal:aimayumi Guitar:Takashi S
Music Program:Takashi S Mix:Takashi S

give and..とくれば、次にくる単語はtakeが常識だと思っていました。でも、ある時、思い直しました。求めずただひたすら捧げ続けることができるなら、人はもっと安らかな心で幸せに生きられるのでは？「全ての人に等しく愛が有りますように」と、願いを込めて。収録曲中、唯一3.11前に書いていた曲。(a)

11 変化の中で (2021.12)

作詞:Takashi S 作曲:aimayumi & Takashi S
Arrangement:Takashi S & Masahiro Komura Vocal:aimayumi
E.Guitar:Masahiro Komura A.Guitar:Takashi S
Music Program:Masahiro Komura Mix:Masahiro Komura

2019年以降、コロナ禍でいろんなことを断念せざるを得なかった僕たち。コロナ禍自体は戦争や環境汚染のような人為的原因の災害ではないのですが(そう信じていたい…)、それでも「見えない力」に消されたかのような理不尽さを皆どこかで感じている気がします。もっとも人類の歴史の中で理不尽がなかった時代など一度もないでしょう。それでもよりよい未来を求めて人は変わり続けることができるはず。暗闇から光を目指す種子のように…。(T)

2021.12.20
ザ・ハミングバース